

「大腿骨骨折患者における退院時食形態予測スコア IWATA-5 の開発と外部検証」について

1. 研究の対象

本研究では、当院に入院された大腿骨骨折患者さんを対象として、診療の過程で得られた既存の診療情報を用いて解析を行います。

対象となるのは、研究実施期間中（2023年4月1日から2025年12月31日）に当院へ入院し、大腿骨骨折と診断された患者さんのうち、年齢、栄養評価（MNA-SF）、口腔機能評価（OAG）、および入院時・退院時の食形態が診療録に記録されている方です。

本研究は後ろ向き研究であり、対象となる方に新たな負担や不利益が生じることはありません。

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、大腿骨骨折患者さんを対象として、入院時に得られる年齢、栄養状態、口腔機能などの情報を用い退院時にどのような食形態へ到達できるかを明らかにすることです。

高齢の大腿骨骨折患者さんでは、低栄養や口腔機能の低下を背景として、退院後の食事内容が制限されることがあり、それらは在宅復帰や誤嚥性肺炎の予防に大きく関係します。

本研究では、診療の過程で得られた情報を用いて、退院の食形態を予測する指標の有用性を検討し、今後のより良い医療や支援につなげることを目的としています。本研究は診療録（カルテ）に記録されている既存の診療情報を用いて行う後ろ向き観察研究です。研究対象となる患者さんの年齢、性別、栄養評価（Mini Nutritional Assessment-Short Form : MNA-SF）、口腔機能評価（Oral Assessment Guide:OAG）、入院時および退院時の食形態などの情報を収集し、解析を行います。本研究では、新たな検査や治療、介入は一切行いません。通常の診療で得られた情報のみを用いて解析を行います。

研究期間は、病院長許可日から2026年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、新たな試料の採取は行いません。

診療の過程で通常収集されている以下の診療情報を研究に用います。

- ・年齢
- ・性別
- ・診断名（大腿骨骨折）
- ・栄養評価（Mini Nutritional Assessment-Short Form: MNA-SF）
- ・口腔機能評価（Oral Assessment Guide:OAG）
- ・入院時の食形態

- ・退院時の食形態
- ・入院および退院に関する診療情報

これらの情報はすべて診療録（カルテ）から取得し、研究のために新たな検査や処置を行うことはありません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：〒438-8550 静岡県磐田市大久保 512 番地 3 磐田市立総合病院

電話：0538-38-5000

研究責任者：リハビリテーション科 医師 有本 直人 （研究責任者）